

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	障害児通所支援なんてん（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 15日		～ 2026年 1月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2025年 12月 15日		～ 2026年 1月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 28 日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	清潔で、心地よく過ごせる環境。	<ul style="list-style-type: none"> 段差がないフロア環境、侵入してはいけない箇所には柵を設置。 毎日の除菌、清掃。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な児童が、安全に危険なく過ごせるよう環境を整えていく。
2	児童発達支援計画に沿った支援。	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人に向けた目標を設定。 安全に活動できるように個別に対応、また全員で楽しめる活動。 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれが、またみんなが好きな遊びや活動を設定する。 意見交換する時間を設ける。
3	日頃からこどもの状況を保護者と共通理解ができている。	<ul style="list-style-type: none"> LINEやメール、連絡帳を活用している。 前日の送迎連絡や、送迎の際のコミュニケーションを大切にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> Instagramやブログの更新。 定期的な面談や、直接お会いできる機会を活用する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会。	<ul style="list-style-type: none"> 公園や児童館など近隣の資源に頼っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い目線で考えていく。
2	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていない。	<ul style="list-style-type: none"> 放課後等デイサービスと合同になる場合にスペースが狭く、上手く住み分けができない。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後空いている部屋を利用できたらいい。
3	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じて指導や助言等を受けること。	<ul style="list-style-type: none"> 他者からの助言や勉強する機会に消極的。 	<ul style="list-style-type: none"> 相談や交流をすることで、連携を図っていく。 地域で取り組んでいくことを意識する。